

承認指令書番号	29動薬第730号
販売開始	1986年7月
再審査結果	1991年12月

ドロンシット®注射液

2021年9月改訂

貯法

室温保存

【本質の説明又は製造方法】

ドロンシット注射液の有効成分であるブラジクアンテル(praziquantel)はドイツ・E・メルク社において発見されたイソキノリン・ピラジン誘導体である。ドイツ・E・メルク社とE・メルク社の共同開発により製品化され、多くの試験の結果、各種糸虫類ならびに嚙形吸虫に対して駆除効果を発揮することが確認されている。

【成分及び分量】

品名	ドロンシット注射液
有効成分	ブラジクアンテル
含量	本品100mL中にブラジクアンテル5.68gを含有する。

【効能又は効果】

犬・瓜実糸虫、マンソン裂頭糸虫、メソセステイデス属糸虫の駆除。
猫・瓜実糸虫、猫糸虫、マンソン裂頭糸虫、嚙形吸虫の駆除。

【用法及び用量】

通常、1日1回体重1kg当たりブラジクアンテルとして5.68mg（製剤として0.1mL）を皮下又は筋肉内に注射する。ただし、裂頭糸虫類の駆除には34mg（製剤として0.6mL）、又、吸虫類の駆除には30mg（製剤として0.53mL）を皮下又は筋肉内に注射する。

【使用上の注意】

（基本的事項）

1. 守らなければならないこと

（一般的注意）

- ・本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- ・本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- ・本剤は獣医師の指導の下で使用すること。

（取扱い及び廃棄に関する注意）

- ・注射器具は滅菌されたものを使用すること。
- ・小児の手の届かないところに保管すること。
- ・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・使用済みの注射針は、針回収用の専用容器に入れること。針回収用の容器の廃棄は、産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分業の許可を有した業者に委託すること。

2. 使用に際して気を付けること

（使用者に対する注意）

- ・誤って注射された者は、直ちに医師の診察を受けること。
- ・本剤は皮膚より吸収されるので、投薬作業者の皮膚に薬剤が触れないように注意すること。誤って皮膚に付着した場合には直ちに石けんで洗い流すこと。

（犬及び猫に関する注意）

- ・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

（専門的事項）

① 重要な基本的注意

- ・本剤投与による糸虫類駆除の確認の際、節節がバラバラになり半透明の状態で排出されるので注意深く観察するよう飼い主に指導すること。

② 副作用

- ・本剤投与により、注射痛、嘔吐、下痢、食欲不振を認めることがある。

③ その他の注意

- ・本剤は静脈内注射を避けること。
- ・本剤は一頭当たりの投与量が3mLを超える場合には、2ヵ所以上に分けて注射すること。

【薬理学的情報等】

（薬効薬理）

本剤の有効成分であるブラジクアンテルは小腸の粘膜細胞から腸管腔内に分泌される。この小腸粘膜から分泌されたブラジクアンテルが、粘膜深く寄生している糸虫類および嚙形吸虫に作用する。


危険物第四類

第三石油類・危険等級Ⅲ・

プロピレングリコール 防火厳禁

【製品情報お問い合わせ先】

エランコジャパン株式会社
〒107-0052
東京都港区赤坂四丁目15番1号
お問い合わせ先: 0120-126-471

ドロンシット、Elanco 及び  : エランコ又はその関連会社の商標です。

【製造販売元（輸入販売元）】

エランコジャパン株式会社
〒107-0052
東京都港区赤坂四丁目15番1号

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するため必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。